本市の下水道整備は、昭和十年に事業認可を受け下水道事業に着手し、昭和四十六年ごろから本格的に事業を進めてきました。六麓荘地区の下水道整備が、今年三月末をもって事業完了し、下水道普及率（下水道処理人口を総人口で割ったもの）が100％になりました。最も重要な社会基盤の一つである下水道事業について、市における歴史や、その役割について、振り返ってみましょう。

９月10日は下水道の日

下水道普及率100％達成

六麓荘地区下水道整備完了

問い合わせ　下水道課　☎38-2064

●下水道のはたらき●

下水道は、いったいどのような役割を果たしているのでしょうか。

下水道管は、家庭からの生活水を排水する汚水管と、雨水を排除する雨水管が道路下に敷設されています。下水（汚水・雨水）を運ぶ方式には「合流式」と「分流式」があり、汚水と雨水を別々の下水道管で運ぶ方式を分流式と言い、汚水と雨水を同じ下水道管で下水処理場まで運ぶ方式を合流式と呼んでいます。

下水道が整備されているおかげで、トイレの水洗化や伝染病の予防が可能になり、生活環境を清潔で快適なものに保つことができます。

また、公共用水域をきれいに保つこともできるようになりました。そして雨水管が整備されていると、大雨が降っても、街中に水がたまらないようになり、蚊やハエの発生を防ぐことができます。

普段は目に触れることがない下水道施設ですが、下水道がない生活は考えられません。新潟中越沖地震で市民が一番困っているのもトイレの問題であるとの報道がありました。ですから、下水道普及率が100％になったとはいえ、下水道としての働きを保つことができるように維持管理していくことは、重要なことです。

●下水道の現状●

本市の下水道は、下水道普及率および水洗化率100％を達成しました。これは、兵庫県下で初めて、全国的にみても早く、本市を含め6市になります。

しかしながら、芦屋市の下水道は戦前から事業に着手していて、多くの下水道施設が耐用年数を超え老朽化が進んでいます。下水処理場や下水道管について、順次、計画的に改築・更新を行っていく必要があります。その際には、施設の耐震化など、下水道施設の機能の向上を図っていきます。

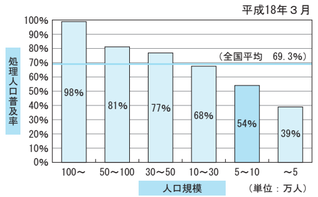
合流式下水道　汚水および雨水を同一の管渠で排除する方式
分流式下水道　汚水と雨水を別の管渠で排除する方式

●下水道のこれまで●

昭和10年	精道村時代に直接放流処理方式で下水道事業に着手
昭和13年	阪神大水害
昭和15年	芦屋市制施行
昭和18年～29年	戦争による資材不足で事業中断
昭和30年	事業再開 直接放流方式を簡易処理方式へ計画変更
昭和46年	住民の受益者負担金制度への異議申し立て
昭和49年	若葉町に下水処理場が一部完成 高級処理方式で供用開始
昭和58年	受益者負担金訴訟、市側勝訴
昭和59年	下水道事業の先進都市として「新下水道法施行25周年記念建設大臣賞」の表彰を受ける
平成元年	１時間当たり100ミリを超える大雨で、床上浸水発生
平成７年	阪神・淡路大震災で下水道も甚大な被害発生
平成13年	高度処理方式の南芦屋浜下水処理場完成
平成14年	南芦屋浜下水処理場せせらぎ広場（ウォーターパーク）で「国土交通大臣賞（生き生き下水道賞）」の表彰を受ける
平成19年	平成６年度より進めていた六麓荘地区の下水道整備が３月末に完了し、下水道普及率100％達成

【高級処理方式】 現在一般に行われている方式。微生物反応を利用してBOD（有機物）およびSSS（浮遊物）除去を主にその目的としている。
【高度処理方式】 高級処理より進んだ処理方式。有機物・浮遊物、窒素・リンなどを除去する。

全国の下水道普及率（都市規模別）



●今後の課題●

・下水処理場の高度処理化

瀬戸内海などの閉鎖性水域では、富栄養化による赤潮などが今でも多く見られます。その原因となる窒素やリンは、家庭から出る生活排水に含まれています。微生物にとっては栄養の豊富な物質ですが、一方では、赤潮の発生など海の汚染の原因になります。今、海に流出する窒素やリンの削減が求められています。そのために高度処理の推進が急がれています。

本市の下水処理水放流先である大阪湾において、水質と環境を守るため、平成十三年に大阪湾流域別下水道総合計画が策定され、窒素、リンなどの排出基準が設けられました。

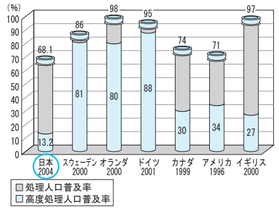
若葉町の芦屋下水処理場の現処理方式では、窒素やリンを十分に除去することはできないため、現在の高級処理から高度処理への検討が必要です。

平成十三年に完成した南芦屋浜下水処理場は、すでに高度処理の機能を備え、窒素・リンを高度に除去しています。その処理水の一部は、膜処理をし、再生水として市民の皆さんの水遊び（南芦屋浜ウォーターパーク）などに利用しています。

高度処理の水を使ったウォーターパーク

「下水道の日」パネル展示
日時　九月五日～十一日
会場　市役所南館地下一階

世界の下水道普及率および高度処理率



・合流式下水道の分流化

平成十九年度三月末をもって、普及率および水洗化率100％を達成しましたが、現在約20％の区域（主に旧市街地）で合流式下水道が採用されています。雨天時には、下水処理場に雨水が入ってくるために負担が大きくなります。そのため、将来的には分流化の検討を行っていく必要があります。

・奥山処理区と芦屋処理区の統合

現在、奥山地区（奥池町および奥池南町）の下水処理場は設備が老朽化していて、維持管理の経費削減を図るため、奥山地区と市街地とを下水道管でつなぎ、奥山地区の下水を若葉町の芦屋下水処理場で処理することを計画しています。

そのため、県道および芦有道路に、約三キロメートルの下水道管の敷設工事を平成二十一年度から行う予定です。

簡易耐震診断推進事業
簡易耐震診断の申し込み、先着順

問い合わせ
建築指導課　☎38-2114

わが家の地震に対する安全性を確認するため、申込者の一部負担により簡易耐震診断を受けられます。わずかな負担により、現在お住まいの住宅の安全性を知ることができます。お早めにお申し込みください。

□対　　象　昭和56年５月31日以前に着工した住宅。
　＊平成12～14年度に実施した「わが家の耐震診断推進事業」で診断を受けた住宅は対象外です。
□個人負担額　3,000円（木造戸建て住宅の場合）
□申 し 込 み　建築指導課にある申込書に必要事項を記入し、平成20年１月末までに上記へ。

阪神南なぎさフェスタ

阪神なぎさ回廊ウォーク
■**日時**　10月21日（日）午前９時～午後３時※小雨決行　■**コース**　市役所北側広場（集合）→芦屋キャナルパーク→尼崎スポーツの森（解散）＊約16キロメートル　■**申し込み**　午前９時から10時までに集合場所で受け付けます。

問い合わせ
西宮土木事務所　☎06-4868-5119

こども海上ウォッチング
■**日時**　10月21日（日）午前の部（午前９時～）・午後の部（午後０時30分～）※雨天決行　■**コース**　新西宮ヨットハーバー（集合・解散）～尼崎・西宮・芦屋港（船上見学）～尼ロック　■**対象**　尼崎・西宮・芦屋市在住の小・中学生とその保護者、各80人　■**申し込み**往復はがきに、参加者全員（４人まで）の住所、氏名、年齢、電話番号、希望の部（午前または午後）を記入し、９月30日（日）＜消印有効＞までに下記へ。
※応募多数の場合は抽選

問い合わせ　尼崎港管理事務所　☎06-6412-1361
（〒660－0083　尼崎市道意町７-21）

地盤面設定取り扱い基準改正（案）への意見を募集

昨年十二月に『芦屋市斜面地建築物の制限に関する条例』の一部を改正する直接請求がありました。

その趣旨を踏まえ、より良い住宅環境を守り育てるため、建築物の高さを算定する場合の基準となる地盤面の取り扱いについて、検討してきました。

このたび、『地盤面の設定』の取扱い基準の改正（案）の概要がまとまりましたのでこれに対する市民の皆さんのご意見を募集します。

□募集期間
九月一日～三十日

□改正（案）・資料の入手方法
建築指導課、市役所北館一階行政情報コーナーで配布。
市ホームページに掲載。

□意見の提出
住所、氏名（企業・団体等の場合は、所在・名称・代表者名）、年齢、電話番号を記入し、郵送・持参・ファクスまたはメールで下記へ。様式は自由。電話・窓口での口頭によるご意見は受け付けません。
ご意見は、市の見解とともにホームページ等で公表（氏名等は非公表）予定。
＊個別の回答はしません。

問い合わせ　建築指導課　☎38-2114/FAX38-2164
Eメール　info@city.ashiya.hyogo.jp（〒659-8501　住所不要）

コミュニティバス等検討委員会から

本市では、昨年十一月に学識経験者、市民公募委員、各種団体等委員、行政関係者からなるコミュニティバス等検討委員会を設置しました。本市における公共交通の課題と施策について検討していただき、このたび検討委員会から市長に報告書が提出されました。報告書の要点は左記のとおりです。
今後、「路線バス利用活性化に向けた啓発」等、引き続き検討していただきます。

問い合わせ
行政経営課
☎ 38-2005

【報告書の要点】

■ 本市の公共交通の課題

本市の公共交通の課題を解決していくためには、特にバス交通にかかる課題の解決が重要であると考えられます。市内のバス交通に関する課題は、現在の市内の路線バスを改善することによって効果的に解決されていくと考えられます。

■ 本市のバス交通の課題

①市内の各地域から鉄道駅への良好なアクセスなど適切なバス路線とダイヤの検討が必要です。
②市域の南北に散在する公共公益施設等への直行・周遊アクセスや、地形的条件等から公共交通の利便性が低い地区からのアクセスについても、対応を検討していく必要があります。
③「わかりやすいバスサービス」の実現に向け、バス路線の状況や運行ダイヤ、停留所情報などについて周知・アピールを積極的に進める必要があります。

■ バス施策に関する基本的な考え方

バスサービスはバス事業者が行う営利活動であると同時に、地域の生活を支える公共のインフラ（都市活動を支える骨格となる施設の総称）でもあります。バスがなければ生活できない人がいるのと同様に、使う人がいなければバスは維持できません。したがって、バスサービスのあり方を検討する場合は、地域の「まちづくりの一環として展開する」という視点が求められます。

以上のことから、バス施策に関する基本的な考え方を、地域のまちづくりのために「市民」「事業者」「行政」が連携する取り組みとします。

■今後すぐに取り組むべき内容
〈アクションプラン〉
・路線バス利用活性化に向けた啓発　・バス事業者との総合的な協議調整

9月9日は救急の日

救急医療週間　9月9日～15日

あなたの応急手当が頼りです

問い合わせ　消防本部警防課救急救命担当　☎32２３４５

突然、心臓や呼吸が止まった人を救うためには、そばに居合わせた人が救命処置をすることが一番大事です。

昨年から新しい心肺蘇生法に変更され、救命処置が全体的に簡素化され、誰でも簡単に実行できるようになりました。救急の日には心肺蘇生法（AEDを含む）を詳しく説明・指導する催しをしますので、大切な命を救うために奮ってご参加ください。

日　時　九月九日（日）午後一時三十分～三時三十分
会　場　市医師会医療センター（公光町五番十三号）
内　容　救急救命士が行う特定行為の展示、大切な命を救うために、市民が行うAED（自動体外除細動器）を使用した救命処置の実演。その他、医師・看護師による救急医療相談、血圧測定
申し込み　直接会場へ

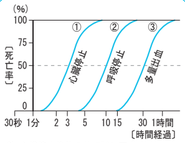
※消防本部では職場単位やグループ等の応急手当て・救急救命講習会の申し込みを随時受け付けています。

救急車の適切な利用を

高齢化や疾病構造の変化などに伴い、救急医療に対する市民のニーズが高まり、年々救急出場件数が増えています。昨年、救急車で搬送された人のうち、入院する必要がなく、治療が終わるとその日のうちに自宅等へ帰る人が、全体の五割を超えています。急を要する病気やけがではないが、便利なので利用するという出場が増え、一分一秒を争う重病人やけが人の搬送に支障をきたす恐れが出ています。

なお、傷病者の様子や事故の状況などから、急いで病院へ連れて行ったほうがよいと思ったときは、迷わず一一九番通報をしてください。

皆さんのご理解とご協力をお願いします。



① 心臓停止後約３分で50%死亡
② 呼吸停止後約10分で50%死亡
③ 多量出血後約30分で50%死亡
図１　カーラーの救命曲線

図1は心臓停止、呼吸停止、多量出血などの緊急事態における経過時間と死亡率をの関係を示しています。
応急手当をすることで、救命率が上がります。

平成18年中の救急出場件数・搬送人員
救急出場件数は前年より47件減少し3,693件、搬送人員も46人減少3,414人となりました。
１日平均の出場件数は10.1件で、2.4時間に１件、市民の24.6人に１件出場したことになります。

事故種別	火災	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
出場件数	5	1	338	24	29	606	32	46	2,320	229	63
搬送人員	5	0	340	23	29	549	30	33	2,173	229	3

9月 テレビ広報番組ガイド 9ch

芦屋市広報番組　あしや30サーティーmin.

		放送時間（30分）
芦屋市の動き	第29回芦屋サマーカーニバル	①8:00
芦屋市政キララ	10月１日から本格稼動 あしや市民活動センター	②11:30 ③16:00
トピックス	芦屋川探検隊	④19:30
お知らせ	あしや秋まつり	⑤22:30
芦屋の中の世界	アラビア語教室（浜風小学校）	
ドラマサーティ	たばこ物語	
市民の時間	心の問題　一緒に考えましょう 芦屋メンタルサポートセンター	※ビデオテープ貸出可

※「J:COM特別番組」のため、９月１日（土）③の放送はありません。
■番組に関する問い合わせ　広報課　☎38-2006　■CATV全般に関する問い合わせ　㈱ケーブルネット神戸芦屋（J:COM）カスタマーズセンター　✉0120-13-8160

ルナ・ホール催し案内

■チケット販売所　市民センター事務所、大蓄、①②のみ、市役所内売店①②のみ、ローソン・チケット、チケットぴあ①のみ、市民センター内グリル業平②のみ

ポップ・オペラ
増田いずみの世界①

■**日時**　９月30日（日）午後２時から　■**会場**　ルナ・ホール　■**出演**　増田いずみ　■**内容**　夜想曲～ショパン「ノクターン第20番」ほか　■**入場料**　4,000円（前売3,500円）全席指定

ジャズピアノ★パラダイス②

ジャズ界を代表する男女のピアニストが２台のピアノで、スタンダード・ジャズを料理します。リクエストコーナーもあり、客席とステージがひとつになります。

■**日時**　11月30日（金）午後７時～　■**会場**　ルナ・ホール　■**入場料**　3,000円（前売2,500円）全席自由　９月３日（月）前売販売開始　■**出演**　佐山雅弘、国府弘子　■**内容**　テイク・ファイブ、スカラムーシュ　ほか

問い合わせ　市民センター　☎31-4995

第３回上宮川ワンコインシアター
レベッカ

アルフレッド・ヒッチコック監督渡米第１作
■**日時**　９月８日（土）①午前10時30分～②午後２時～　※開場は各回30分前　■**会場**　上宮川文化センター３階ホール　■**参加費**　中学生以上500円
＊満席の場合は、入場制限します。

問い合わせ
上宮川文化センター　☎22-9229

公民館音楽会
オータム・コンサート

■**日時**　10月６日（土）午後1時30分～３時　■**会場**　市民センター音楽室　■**出演**　北浦洋子（バイオリン）、河内敬子（ピアノ）　■**曲目**　チゴイネルワイゼン、愛の喜び、バイオリン・ソナタほか　■**参加費**　500円
■**申し込み**　往復はがきに住所・氏名・電話番号・参加人数を記入し、９月21日（金）までに下記へ

問い合わせ　公民館　☎35-0700（〒659-0068　業平町8-24）

ＮＨＫ公開セミナー失われた文明
インカ・マヤ・アステカ

■**日時**　９月21日（金）午後２時～３時30分　■**会場**　ルナ・ホール　■**講師**　東海大学文学部教授・横山玲子氏　■**申し込み**　往復はがき（１枚に１人）に、住所・氏名・電話番号を記入し、９月５日（水）＜必着＞までに公民館「ＮＨＫ公開セミナー」係へ　※参加者１人に１枚「インカ・マヤ・アステカ展」招待券（神戸市立博物館10月３日～12月24日開催）進呈

芦屋の古代史展

輝ける芦屋の古代
飛鳥・奈良・平安時代の歴史と文化
■**日時**　９月12日～10月１日　■**会場**　市民センター常設展示場（３階空中通路）　■**内容**　古代に関わる遺跡からの出土品（墨書土器、寺院の瓦、紀年木簡などの最新資料）の展示。それらの出土品から古代の芦屋の歴史や文化をわかりやすく紹介します。

問い合わせ
生涯学習課文化財担当　☎31-9066